	1			, , , , ,	女哦只 口川 5						1		
開催月日	令和4年10月11日~10月13日												
開催時間	9時25分から17時(11日は11時受付、13日は12時まで)												
開催場所	全国市町村国際文化研究所												
主催者	公益財団法人全国市町村研修財団												
研修会等の名称	令和4年度市	令和4年度市町村議会議員研修[3日間コース]「人口減少社会における議会の役割」											
講師等の氏名等													
	10月11日(火	火) 開校	:式・オリ	エンテー	ション								
		講義	:地方行	「政の現 <b>り</b>	<b>ドと課題~2040年</b>	を見据えて	~						
		詩	師 新	潟大学 副	副学長•経済科学	部部長教授	会 宍戸	邦	久				
	講義:過疎地域の持続可能なまちづくりを目指して												
	講師福井県大野市長石山志保												
	講義・演習:わがまちのありたい姿(ビジョン)を考える												
内容·結果等		請	師 千	葉大学大	学院社会科学研究	完院 教授	倉坂	秀史	1				
	講義:人口減少社会における議会の役割												
	講師 明治大学政治経済学部 教授 木寺 元												
	経 費	の内	容	支	払	先	金	額	(	円	)		
	会場費												
	講師謝礼												
	出席者負担	金		ļ									
上記活動に要し た経費	会費			+	打村国際文化研究 · =						0,200		
/心性貝	旅費			SKYマー	ク・西日本旅客鉄道	株式会社				26	5,610		
	□ 宿泊費 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □										550		
	1水火八十亚										330		
	合	計								37	7,360		

開催月日	平成34	<b>‡年</b> 10.	月11日	3										
開催時間	13時00分													
開催場所	全国市	全国市町村国際文化研究所												
主催者	公益則	公益財団法人全国市町村研修財団												
研修会等の名称	令和4	令和4年度市町村議会議員研修[3日間コース]「人口減少社会における議会の役割」												
講師等の氏名等	宍芹	央戸 邦久 氏 新潟大学 副学長 · 経済学部 教授												
	地方行	地方行政の現状と課題 ~2040年を見据えて~												
	1, 地7	1, 地方自治体をめぐる「平成」の出来事												
	1)±	①地方分権改革 (H7:地方分権推進法成立、地方文献推進委員会発足)												
	<b>2</b> 7	②市町村合併 (H11~H22「平成の大合併」)												
	③行政改革 (S60:地方行革大網、H6:地方行革指針等)													
	2. 2040年に向けての課題													
	1	学校→	児童:	生徒数	枚の減く	少により、	小規模	校や廃村	交が増加。②	大学-	→地	方の	私立の	の
	小丸	見模大	学は	経営な	がきびし	い。③イ	ンフラー	→老朽化	したインフラ・	公共	施設	が大	幅に	増
	加、	人口	減少化	上では	公営企	:業(水道	[)の料金	於上昇	する。④公共	交通	<b>→/</b> \`	スや	鉄道	の
	廃⅃	上路線	が増	加する	ら。この	ことを踏る	まえ地垣	ぱの未来	予測を作成し	住民	など	に積	極的	な
	参加	旧を促	しなか	҉ҕӶЕ	指すま	₹来像」を	議論し、	、その結	果を様々な政	対策や	計画	に反	映し	て
	いく	ことが	重要	である	) o									
	感想•	まとめ	:地域	のこと	は地域	ずで解決・	する。自	治体は「	「消滅」しない	、「消	滅」(	の可能	と性カ	Ñ
	-				-				る子供の安全					٢
									る。そのためロ	こ地垣	ずでに	問題点	きを	
							咳と一緒		ていきたい。	Γ	ψZ	: /		
	経		の	内	· 容	支		払	<u>先</u>	金	額	[ (	円	
	旅費 	-												
上記活動に要し た経費	振込													
		合	· i	計										
			-						-					

開催月日	平成34年10月11日													
開催時間	13時00分													
開催場所	全国市町村国際文化研	T究所												
主催者	公益財団法人全国市町	公益財団法人全国市町村研修財団												
研修会等の名称	令和4年度市町村議会議員研修[3日間コース]「人口減少社会における議会の役割」													
講師等の氏名等	石山 志保 氏 福井	県大野	市市長											
	住み続けたい結の街を目指して 人と自然が共に生きていける持続可能な地域づくり													
	①高速交通アクションプログラム:中部縦貫自動車道と北陸新幹線の延伸、道の駅開駅													
	産業ブランド向上計画策定事業、日本一の星空発信事業 ②健康のまちづくり:健康づくり応援事業、地域安心すまいる事業													
	③大野ですくすく子育	て応援	パッケージ	:子供医療費の	助成(20歳	 O歳まで)、保育料無料化								
	(第2子以降の児童は所得制限なし)保育所・認定こども園服飾費無料化(第3子以降													
	の児童) など													
	まとめ・感想													
	人口減少における地域で、小・中学校の再編改革を計画(令和8年に完了)し、デジタル													
	化、脱炭素の取り組みなど計画予定されている。半面古くから生活で営まれてきた													
	「助け合い・支えあう心」を大切にされているというのがわかった。人口3万・森林・自然													
	に恵まれているのは嬉野と似ていると思った。現状をもう少し詳しく知りたいと思った。													
	経費の内	容	支	払	先	金額	. (	円	)					
	会場費													
	講師謝礼													
	出席者負担金													
上記活動に要し	会費													
た経費	旅費													
	宿泊費													
	振込料金													
	合 計													

開催月日	令和4:	年10月	12日	•13日	村研修財団 議員研修[3日間コース]「人口減少社会における議会の役割」 葉大学大学院社会科学研究院 教授 を(ビジョン)を考える 基づく政策立案、総務省における「地域の未来予測」、未来カルテ、 カーボンニュートラルシュミレーター・脱炭素未来ワークショップに を、人口数が近い市町の議員(79名)で21グループ(各4名)を作り をKJ法を用いて抽出し発表した。 と学金の条件を市町に帰ってきてもらうために、帰ってきた人には 農工商連携などの意見が聞かれた。講師より長期的な考えに、 は将来豊かになると話され、何もしないと何も生まれず消滅して									
開催時間	9時2	5分か	ら17時	寺、13	日は12	時まで								
開催場所	全国市	可村[	国際文	と化研	究所									
主催者	公益則	<b>才団法</b> 。	人全国	国市町	村研修	· 財団								
研修会等の名称	令和4	年度市	丁町村	議会	議員研	修[3日間	コース]「人口減な	少社会にお	ける議	会の	 役害	    ] _		
講師等の氏名等	倉坂	わがまちのありたい姿(ビジョン)を考える 地域の未来予測に基づく政策立案、総務省における「地域の未来予測」、未来カルテ、 未来ワークショップ・カーボンニュートラルシュミレーター・脱炭素未来ワークショップに ついて聴講しその後、人口数が近い市町の議員(79名)で21グループ(各4名)を作り 問題(課題)・対策等をKJ法を用いて抽出し発表した。 とめ・感想 ループ発表内容に、奨学金の条件を市町に帰ってきてもらうために、帰ってきた人には 件をつけ免除とする。農工商連携などの意見が聞かれた。講師より長期的な考えに、 早く取り組んだ自治体は将来豊かになると話され、何もしないと何も生まれず消滅して												
	(3)わか													
	州	地域のき	未来予	予測に	基づく	 政策立案、	 総務省における	 「地域の未	来予測		未来	ール・	テ、	
内容·結果等														
未来ワークショップ・カーボンニュートラルシュミレーター・脱炭素未来ワーク ついて聴講しその後、人口数が近い市町の議員(79名)で21グループ(各4名 問題(課題)・対策等をKJ法を用いて抽出し発表した。 まとめ・感想 グループ発表内容に、奨学金の条件を市町に帰ってきてもらうために、帰ってきた条件をつけ免除とする。農工商連携などの意見が聞かれた。講師より長期的なオー早く取り組んだ自治体は将来豊かになると話され、何もしないと何も生まれずらいくというこの言葉が強く心に残った。	条件をつけ免除とする。農工商連携などの意見が聞かれた。講師より長期的な考えに、													
	消源	むして												
	いくとし	ハうこの	文言葉	が強	く心にタ	浅った。			域の未来予測」、未来カル・脱炭素未来ワークショップで21グループ(各4名)を作りうために、帰ってきた人には講師より長期的な考えに、ないと何も生まれず消滅して					
							完社会科学研究院 教授 考える 案、総務省における「地域の未来予測」、未来カルテ、 ユートラルシュミレーター・脱炭素未来ワークショップに 近い市町の議員(79名)で21グループ(各4名)を作り いて抽出し発表した。 を市町に帰ってきてもらうために、帰ってきた人には などの意見が聞かれた。講師より長期的な考えに、 になると話され、何もしないと何も生まれず消滅して							
	経	費	の	内	容	支	払	先	金	額	(	円	)	
	会場	費												
	講師	下謝礼												
	出席者負担金													
上記活動に要し	会費													
た経費	旅費	Ì						研究院 教授  における「地域の未来予測」、未来カルデュミレーター・脱炭素未来ワークショップに 義員(79名)で21グループ(各4名)を作り 発表した。  つてきてもらうために、帰ってきた人には が聞かれた。講師より長期的な考えに、 れ、何もしないと何も生まれず消滅して						
	宿泊	費												
	振込	料金												
	地域の未来予測に基づく政策立案、総務省における「地域の未来ワークショップ・カーボンニュートラルシュミレーター・脱りついて聴講しその後、人口数が近い市町の議員(79名)で2・問題(課題)・対策等をKJ法を用いて抽出し発表した。まとめ・感想グループ発表内容に、奨学金の条件を市町に帰ってきてもらうた条件をつけ免除とする。農工商連携などの意見が聞かれた。講師一早く取り組んだ自治体は将来豊かになると話され、何もしないないくというこの言葉が強く心に残った。													

開催月日	平成34	4年10.	月13日	3						れてた。 るだけの専門な 越え、政策討議を でいる ず展開された議論 研修内容から違う るためにも自己								
開催時間	9時2	 5分か	ら17時	寺、13	日は12	時まで												
開催場所	全国市	 i町村[	国際文	文化研	究所													
主催者	公益財	团法.	人全国	国市町	村研修	多財団												
研修会等の名称	令和4	年度市	市町村	議会	議員研	修[3日間	引コース]「人口減	少社会にお	ける語	養会 <i>0</i>	 )役	割」						
講師等の氏名等	木寺	元 氏	, 1	明治オ	大学政:	治系医学	部教授											
	人口洞	少社:	会にお	らける	議会の	役割												
	辻 阝	──── 易著「F	 3本σ	地方	議会」	と曽我謙	 悟著「日本の地方	政府」を比	 較され	てた	0							
	内 <i>f</i>	いらの	改革記	ーーー 淪:非:	対称的	な二元代	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	長に対抗な	できる	だけの	 D専	門な						
	知詞	知識や能力を持った議会を構築すること。政党や会派の対立を乗り越え、政策討議を																
	行い、議会として一定の結論を得て首長と対峙する姿を理想型としている																	
	外からの改革論:地方議会や地方議員といった「現場」と接点を持たず展開された議論												論					
│ 内容・結果等 │	がほとんどであり、その関心は選挙制度に集中した																	
内容・結果等	の役割とし	 と割という研修内容から違う																
	と感し		ハ内容	子だった	た。専F	門的な知	識や能力を持った	:議会を構築	をする	されてた。 きるだけの専門な り越え、政策討議を している たず展開された議言 う研修内容から違う するためにも自己								
	研鑽	 が必要	更であ	ると強	く感じ	<i>t</i> :。			比較されてた。 抗できるだけの専門がを乗り越え、政策討論型としている を持たず展開された。									
	経	費	の	内	容	支	払	先	金	額	(	円	)					
	会場	i費																
	講師謝礼																	
	出席者負担金																	
上記活動に要し	会費	-																
開催場所 全国市町村国際文化研究所 主催者 公益財団法人全国市町村研修財団 研修会等の名称 令和4年度市町村議会議員研修[3日間コース]「人口減少社会における議会 講師等の氏名等 木寺 元 氏 明治大学政治系医学部教授 人口減少社会における議会の役割 注 陽著「日本の地方議会」と曽我謙悟著「日本の地方政府」を比較されて 内からの改革論:非対称的な二元代表制を是正し、首長に対抗できるだけ 知識や能力を持った議会を構築すること。政党や会派の対立を乗り越え 行い、議会として一定の結論を得て首長と対峙する姿を理想型としている 外からの改革論:地方議会や地方議員といった「現場」と接点を持たず展 がほとんどであり、その関心は選挙制度に集中した まとめ・感想 議会を2方向から見ての講義だったが、人口減少と議会の役割という研修的 と感じ難しい内容だった。専門的な知識や能力を持った議会を構築するため 研鑽が必要であると強く感じた。  経 費 の 内 容 支 払 先 金 名 会場費 講師謝礼 出席者負担金																		
	宿泊	費																
	振込	料金																
		合	i	Ħ														